

# ベニの酒 恋唄

作詞 伊藤 一生

紅花で栄えた      この川の  
芭蕉のライン      晴れわたる  
夢の最上を      いざ舟下る  
逢瀬かなくて      呑む酒は  
誰が名付けた  
その名嬉しや      ベニの酒

ヨーエサノコラシヨ  
オイシヨナミマーカセ

藍の着物に      置いた手の  
未摘む花が      揺れている  
波によろけて      あなたの腕を  
刺したこの花      許してと  
詫びてさすれば  
目もと赤らむ      ベニの酒

幼馴染みの      ままごとは  
わたしがいつも      恋女房  
最上舟唄聴き      惚れながら  
たどりつきたい      幸せに  
あなたまかせの  
酔えば緋のさす      ベニの酒

※ <sup>すえつ</sup>未摘む花      〳      ベニバナの別名